

別記

令和4年度文部科学大臣表彰（優秀教職員）受賞者功績等

1 教職員（優秀教職員）（22名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>北海道深川西高等学校 教諭 ひぐち ともひさ 樋 口 知 久 (51歳)</p>	<p>29年</p>	<p>令和 3 年度</p>	<p>長年にわたり、地歴・公民科教諭として生徒の学習意欲を向上させ、思考力を高める探究的な授業やICTを活用した授業の充実等に尽力するとともに、その成果を道教委のセミナー等で紹介するなど、本道の日本史教育の振興と充実に大きな成果を上げている。 また、進路指導部長として教職インターンシップ等、外部との連携等を活用した進路指導の充実や、ICTを活用した、コロナ禍でも「学びを止めない」進路学習の構築を進めている。 これらの実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。 さらに、上記実践表彰を受賞後も地域と協働した教育の充実に努めるとともに、道教委のセミナー講師を担当するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>江別市立江別第一小学校 主幹教諭 なりた いちのしん 成 田 一之慎 (46歳)</p>	<p>18年</p>	<p>令和 3 年度</p>	<p>長年にわたり、小・中学校教諭として理科の指導の充実に尽力するとともに、研修講師として、学習指導や観察、実験の方法について、他校教員への指導助言を行うなど、教員の指導力向上に取り組んでいる。 特に、平成25年度から5年間は、北海道立教育研究所附属理科教育センター研究研修主事として全道を対象に、平成30年度からは「小学校理科研修サポートリーダー」として研修講座の講師を務めるなど、本道並びに管内の理科教育の振興と充実に大きな成果を上げた。これらの実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。 さらに、上記実践表彰を受賞後も「プログラミングについての研修会」を実施するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>恵庭市立恵み野小学校 教諭 はまだ やすたか 濱 田 泰 考 (40歳)</p>	<p>10年</p>	<p>令和 3 年度</p>	<p>長年にわたり、小学校教諭として、「考え、議論する道徳」の実現に向け、道徳教育の充実に尽力するとともに、研究主任として、道徳科の授業を率先して公開し、研究部通信を定期的に発行して先進事例を発信するなど、教員の指導力向上に取り組んでいる。 特に、校内研究においては、道徳教育の重点目標を踏まえながら研究を進め、年2回全校児童に対し「道徳アンケート」を実施し、分析結果を基に、発問や振り返りの工夫等、指導方法の改善を進め、学校課題研究発表会において成果を管内に周知するなど、道徳教育の充実に大きな成果を上げている。 また、タブレット端末を活用して児童が自分の考えを示す場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けた取組を進めるとともに、北海道道徳教育推進会議の授業者として、授業を公開するなど、これらの実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。 さらに、上記実践表彰を受賞後も石狩教育局YouTubeチャンネル「いしかり局ちゃんねる」において、道徳教育の在り方について発信するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道札幌南高等学校 事務主任 かんだ だいすけ 神 田 大 介 (46歳)</p>	<p>24年</p>	<p>令和 3 年度</p>	<p>長年にわたり、学校の教育目標を具現化するため、円滑な財務事務執行のみならず改築工事事務、学校統廃合事務等の緊急性のある困難な事務処理に精力的に取り組むとともに、旺盛な学習意欲で研究・研修活動に積極的に取り組み自己研鑽を深めてきた。 特に、北海道公立学校事務職員協会、石狩管内道立学校事務主任会の要職を務め、石狩教育局と連携し委託契約に係る積算資料を毎年作成するなど、全道事務職員の研究・研修活動の推進に多大の貢献をした。 また、北海道教育委員会主催の新採用事務職員研修の講師を平成27年度から5年連続で務め、同主催の新任事務主任研修会の講師を平成29年度から2年間務めるなど、識見と指導力を発揮している。これらの実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。 さらに、上記実践表彰を受賞後も北海道公立学校事務職員協会研究部の筆頭理事を務めるなど、全道事務職員の研究・研修活動の推進と自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>小樽市立桂岡小学校 教諭 わたなべ だいじろう 渡 邊 大二郎 (35歳)</p>	11年	令和 3 年度	<p>令和元年度から3年間、授業改善推進チームの一員として小学校3校を巡回し、各校の教員の授業力向上に寄与する指導助言を行った。</p> <p>特に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校の臨時休業に備える学びの保障の観点から、推進チームが発行する便りで、「授業における学習活動の重点化」について紹介するほか、自ら示範授業を行うとともに、小樽市教育委員会が行った臨時休業中の学習動画の制作にも参加するなど、児童の学びの保障に向けた取組に、積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、公開研究会や各種研修等を通じて、児童の実態を細かく分析し、学校全体で組織的に行う学力向上の取組を広く発信し、その成果を普及するなど、全道及び管内教育の充実に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICTを活用した授業改善や学力向上に係る研究の推進を実施するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>蘭越町立蘭越中学校 教諭 きくち ようへい 菊 地 洋 平 (36歳)</p>	12年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、英語教諭として授業改善に努めるとともに、校内はもとより町全体の英語教育の充実に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和2年度から、「蘭越町CAN-DOリスト」の作成に携わり、その観点に基づいて町内小学校に乗り入れ指導を行うとともに、北海道蘭越高等学校と連携し、高等学校の英語教員による中学校での乗り入れ指導を実現するなど、小・中・高等学校が連携した英語教育の充実に向けて、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>また、令和2年度から2年間、北海道小・中・高等学校英語教育推進事業における合同研修会で授業者を務め、これまでの取組を広く発信してその成果を普及するなど、全道及び管内の英語教育の充実に大きく貢献し、その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も蘭越町内小・中・高等学校の英語連携の中心的役割を果たすなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>登別市立幌別小学校 教諭 やなせ たまみ 柳 瀬 珠 美 (51歳)</p>	29年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、登別市幼小連携・接続推進リーダーとして、教員の幼児教育理解を含めた資質・能力の向上、域内の幼児教育の理解推進に取り組んだ。</p> <p>特に、登別市幼小連携協議会実務担当者合同研修会において、スタートカリキュラムの作成、実施及び評価に関わる情報発信等の活用を図った取組は他教員の模範となっており、本道及び管内の幼小連携・接続の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道教育委員会「第1回胆振総合振興局管内幼児教育振興ネットワーク会議」において、豊富な経験に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も幼小連携・接続推進の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>苫小牧市立明野小学校 教諭 ねぎし きよと 根 岸 清 人 (49歳)</p>	17年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、厚真町や苫小牧市の外国語専科教員として、外国語科及び外国語活動における授業づくりの充実に努めるとともに、児童一人一人の学力向上を目指した教育活動を推進している。</p> <p>特に、外国語科において優れた指導力を発揮し、小・中学校9年間を見通した教育課程の編成や指導方法の工夫、CAN-DOリストを活用した授業実践は他教員の模範になっており、本道並びに管内の外国語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も教員の外国語指導力の向上を目指し、研修講座や授業公開を通じて言語活動の充実とALTの活用方法を普及促進するなど、本道の外国語教育に関わる実践力向上の中核的な役割を果たしている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経年 数	道教育 実践表 彰年 度	主 な 実 践
苫小牧市立拓勇小学校 教諭 しらさき けんさく 白 崎 健 策 （45歳）	13年	令和 3 年度	<p>平成30年度から北海道教育委員会「体育専科教員活用事業」による体育専科教員として、児童の体力向上を目指した実践的な取組のほか、体育科における指導の工夫・改善に尽力するとともに、創意工夫に富んだ教育活動を展開している。</p> <p>特に、単元や1単位時間の目標を学級担任と共有し、ティーム・ティーチングによる指導や、ICTを活用した授業実践は他教員の模範となっており、本道及び管内の体育科の授業実践の振興と充実に大きな成果を上げている。その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、児童が主体的に運動できる環境づくりに取り組んでいるほか、授業の導入時に主運動につながる補強運動を継続的に実施するなど、児童の体力向上を目指した体育科の授業実践の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道富川高等学校 教諭 いとう あき 伊 藤 亜 希 （41歳）	14年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、高等学校教諭として国語教育において卓越した専門性と指導力を発揮し、生徒の興味・関心を高めるとともに、生徒が主体的に学びに向かう資質・能力を育む教育活動を実践している。</p> <p>特に、ICTを活用した教材開発や授業改善に積極的に取り組み、ソフトウェアを利用し即時性を生かした相互評価や自己評価を行い、生徒自身が客観的に振り返ることに役立たせるなど、生徒の主体的な学びの推進や、学力差の大きい集団における「個に応じた指導」の充実に努めた。その実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記表彰を受賞後も、北海道教育委員会が主催する教科指導講座において実践発表を行うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道函館高等支援学校 教諭 たつの ただてる 辰 野 忠 輝 （52歳）	27年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、「一人一人の生徒のよさを生かし、社会で必要な資質・能力の育成」を目指し、生徒一人一人の障がいの状態に応じて、卒業後に必要とされる生きる力の育成に取り組んでいる。</p> <p>特に、前任校において、専門教科である「流通・サービス」におけるビルクリーニングの取組では、地域の公共施設や民間企業等と連携した清掃実習を通じて、清掃に関する知識・技能の確実な習得を図るとともに、平成30年度全国障害者技能大会（アビリンピック）ビルクリーニング種目に出場した生徒が、本道の特別支援学校高等部在学者としては初となる金賞を獲得するなど、大きな成果を上げている。</p> <p>また、前任校の高等部開設当初の1期生から令和2年度末の8期生までの卒業生のうち、就職した（就労継続支援A型を含む雇用契約を結んだ）生徒の割合が平均で90.1%となるなど、知的障がい教育における職業教育・キャリア教育の実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、現任校においても、ミドルリーダーとしての自覚を十分に持ちながら、知的障がい教育の後期中等教育における職業教育・キャリア教育に係る普及啓発や後進の育成に尽力している。</p>
厚沢部町立厚沢部小学校 教諭 わたなべ まり 渡 邊 真 理 （46歳）	12年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、英語免許を所持する小学校教諭として、外国語活動及び外国語科の授業改善に取り組み、外国語教育の充実に努めている。</p> <p>特に、令和2年度には、外国語巡回指導教員として、厚沢部町の各小学校の授業改善に取り組み、各校教諭やALTと協働して、特にスピーキングの言語活動による充実に図り、児童が楽しみながら自分の考えを表現できる場づくりに努めている。</p> <p>また、小・中・高等学校英語教育支援事業や外国語の指導力向上に係る研修にも積極的に参加し、自身の指導力向上に向けて研鑽に努めるとともに、得た情報や自身の実践成果の普及に意欲的に取り組む姿勢は、檜山管内の教員に大きな影響を与えている。その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICTを用いた効果的な授業改善にも取り組み、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践年 彰年度	主 な 実 践
留萌市立港南中学校 教諭 くどう ことこ 工 藤 琴 子 (43歳)	12年	令和 3 年度	<p>採用以来、外国語科担当教諭として継続的に授業改善に取り組み、学習指導の充実に尽力するとともに、小・中・高等学校英語教育支援事業における公開授業の実施、小・中学校9年間の系統性を踏まえたCAN-DOリストの作成、授業動画の作成等、管内の外国語教育の発展充実に寄与している。</p> <p>特に、日常的にALTとティーム・ティーチングを実施し、生徒がネイティブな発音に慣れ親しむことに意を用いているほか、小学校への乗り入れ授業を実施するなど、管内の外国語科教育の振興に大きな成果を上げている。</p> <p>また、研究主任として、校内の組織的な学力向上の取組を推進し、令和3年度学力向上支援事業「組織力強化会議」において、管内の効果的な実践例として全体発表を行い、その実践が高く評価されている。こうした実績により、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICTを活用した授業実践を進めるなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
幌延町立幌延中学校 教諭 ささき りょう 佐々木 亮 (35歳)	11年	令和 3 年度	<p>平成30年度より、免許状所有教員が未配置である教科を担当する免許外教員を支援することを趣旨とした社会科の遠隔授業を実施しており、より専門性の高い授業の展開と免許外教員との連携による双方の授業改善を図り、地域の課題解消に向けた継続的な教育活動により高い成果を上げている。</p> <p>文部科学省の「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」において、遠隔授業に関する実践発表や、博物館見学を実施するに当たっての事前学習や事後学習をオンラインで行うなど、ICTを活用した学習活動として、新しい学習形態の構築に寄与している。</p> <p>また、幌延情報教育センターの所員として、ワークシート等の教材作成やICT活用の有効な機能について、研修会や自校の校内研修で還元するなど、町内学校のICT活用推進に貢献するとともに、校内では研究部長として活躍し、GIGAスクール構想と連携した学校体制づくりに向けた研修を実施するなど、教職員の資質能力の向上に貢献する業績が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も教職員に対して、ICTを活用した教材づくり等に係る研修を行うなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北見市立北中学校 主幹教諭 こうぐち まさき 高 口 正 紀 (46歳)	23年	令和 3 年度	<p>平成27年度から平成29年度までの北海道道徳教育推進校事業における指定校の中核の役割を担い、自校における道徳科の授業スタイルの確立に大きく貢献した。その成果として、全国学力・学習状況調査生徒質問紙における「自己肯定感」や「話すこと、聞くこと」の項目が、全国平均を上回るなど、成果を上げている。現任校で教務主任、主幹教諭を務め、学校教育目標「高めよ知性・鍛えよ身体・尽くせよ心・そして共に歩まん」の実現に向け、校内研修と学習環境の整備、生徒会活動など学校の各教育活動を有機的につなげることに尽力している。</p> <p>また、それらの実践を令和元年度には道徳推進校教師研修会、令和2年度には学校運営研修会や組織力強化会議の講師として紹介することで管内教育の発展に大きく寄与し、その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も主体的に学習に取り組む生徒を育成する授業改善と評価の一体化を図るなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道北見北斗高等学校 主幹教諭 やまざき たつや 山 崎 辰 也 (45歳)	21年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、地歴・公民科教諭として、教科指導、生徒指導、校務分掌、部活動、研修等に熱心に取り組み、特に授業改善に対する意欲が高く、様々な研修に積極的に参加し、その成果を自らの授業へ反映させ、実践記録を作成し、その結果を論文にまとめ公表している。</p> <p>特に市役所や地域のNPO法人と協働での探究学習の実践を行うなど、社会参画を見据えた教育の推進に努め、これらは全道・全国の模範となる実践として複数の賞を受賞している。また、NIE全国大会において、アイヌ文化学習について経済や倫理の観点から取り組んだ授業について研究発表を行い、全国的に注目を集めた。その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も地歴・公民科教育の指導充実の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
音更町立音更小学校 教諭 たかだ さとみ 高 田 三十三 (37歳)	15年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭として「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や児童の資質・能力の育成に尽力するとともに、国語科における「話す・聞く」能力の育成に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和2年度北海道国語科教育研究大会の授業者として授業実践を公開したり、十勝管内国語科教育サークル会員とともに「話すこと・聞くこと」に関する授業の在り方について研究するなど、国語科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、昨年度より本校の「ICT推進部員」として1人1台端末の効果的な活用方法について他の教員に情報提供や指導助言するなど中核的な役割を果たし、その実践が高く評価され、令和3年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICT活用の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
鹿追町立鹿追小学校 教諭 なかやま りゅうた 中 山 竜 太 (41歳)	10年	令和 3 年度	<p>小学校教諭として、自校の研修テーマである「自ら考え、主体的に取り組む子どもの育成」の具現化に向け、校内研修をけん引し、全教職員による組織的な授業改善の推進に尽力するとともに、日常的な授業実践において自ら「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、校内研修においては、1人1台端末を活用した授業実践の在り方について、自らが率先して講師となり、活用方法を全教職員と共有し、低学年における1人1台端末の活用方法について研修を推進する等、模範的な取組で、本道及び管内のICT教育の発展に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、令和4年度には北海道道徳教育推進会議の授業提供者として全道規模で活躍している。</p>
北海道釧路北陽高等学校 教諭 ながの しょうた 長 野 翔 太 (32歳)	10年	令和 3 年度	<p>数学科教諭として、学力上位層から苦手な生徒まで幅広い学力層に対し、工夫した授業展開を心掛けた教科指導を実践している。</p> <p>また、前任校では、教務進路指導部長として、ICTの活用による指導と評価の一体化を目指し、精力的に公務運営に関わり、特に、ICTの授業での効果的な活用方法について、自身の取組を検証し、その成果や課題を学校全体で共有するとともに、若手教員の模範として、リーダーシップを持って指導・助言を行う等、授業力向上に尽力した。</p> <p>また、令和3年1月には、町長、町議会議員、教育委員会、中学校、PTAや地域住民などを対象に授業を公開したほか、オホーツク管内の教務担当者研究協議会において、ICTを活用した実践例としてタブレットを活用した授業の研究発表を行うなど、ICT教育の推進に大きな成果を上げた実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、現任教校においても、ICTの活用、指導と評価の一体化の取組に教科内だけでなく他の教員の模範として取り組み、自己研さんに努めている。</p>
北海道白糠養護学校 教諭 いぬかい ゆきえ 犬 養 幸 恵 (54歳)	31年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、特別支援学校教諭として肢体不自由教育に携わり、特に訪問教育においては在宅訪問指導を中心に、家庭と連携しながら、重度の児童生徒の指導に尽力した。特別支援教育コーディネーター在任中は、根釧地区の地域の学校において、特別支援教育パートナーティーチャー派遣事業等を通して、障がいのある児童生徒及び保護者の支援、教員への支援や研修協力に尽力し、関係機関との連携を深めることで、地域の絶大な信頼を得た。</p> <p>現在は学部主事として、学校運営に積極的に参画し、若手教員の育成にも貢献したことが高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も学部主事として若手教員の育成や授業改善に積極的に取り組むなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
別海町立上西春別中学校 主幹教諭 はやせ かおり 早瀬 香織 (43歳)	21年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、家庭科の担当教員として、児童生徒の興味・関心を引き出す学習指導の充実に尽力するとともに、児童生徒の学習状況をきめ細かくとらえ、自身の指導の在り方を振り返り、未来を生き抜く児童生徒に求められる資質・能力を育成するために日々研鑽を重ねている。</p> <p>特に、家庭科と総合的な学習の時間等との関連を図った教科等横断的なカリキュラムを編成し、地域と連携して別海町の生乳を使用した「乳和食」の実践は他校の模範となっており、本道及び管内のふるさと教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、研修部長として若手教員の育成や学校の課題解決に向けた取組の充実に向けて、中核的な役割を果たすとともに、根室管内学力向上支援事業におけるミドルリーダーとして、管内の若手教員の資質向上に尽力するなど、その実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、地域に根差したふるさと教育や教員の資質向上に向けた取組を充実するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道中標津農業高等学校 教諭 かせ としのり 加瀬 利憲 (47歳)	19年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、農業科教諭として、先進的な経営感覚を兼ね備えた「将来の酪農業を支える人材」の育成に取り組む、農業改良普及員としての経験を生かした創意工夫ある教育活動を展開している。特に、全国の農業高校で初めて取得したJ-GAP認証（家畜・畜産物 乳用牛）に関する取組において、搾乳や牛乳貯蔵タンク洗浄といった各作業を動画撮影し、QRコードに変換して管理マニュアル等に添付したり、動画で作業手順が確認できるシステムを構築したりするなど、ICTの活用を図った取組は他の模範となっており、本道及び管内の農業教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、環境や牛に配慮した酪農技術に加え、職業人として必要な資質・能力を育成し、農業教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた研究成果の提言・執筆を行うなど、その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も自己研鑽に努め、在ニュージーランド日本大使館と共同で酪農セミナーを企画し、酪農事情について情報交換する等により、本校生徒の知的好奇心を高めた。また、地域の企業と連携し、事業の実施に当たっては、J-GAP認証に関する技術を提供するなど、地域への技術還元と普及啓発に努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和4年(2022年) 4月1日現在

2 教職員（若手教職員等奨励賞）（10名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>滝川市立滝川第二小学校</p> <p>教諭</p> <p>いたもと りょう 板 本 諒</p> <p>(31歳)</p>	7年	令和 3 年度	<p>今日的な研究課題や授業づくりに積極的に取り組み、児童一人一人に基礎・基本の定着を図る教育活動の推進に努め、本校において3年間、研究主任として学力向上に向けた取組及びプログラミング教育の充実に向けた取組を組織的に推進してきた。特に北海道教育委員会プログラミング教育事業実践校の中心となって研修を進めるとともに、公開研究会を開催し、管内のプログラミング教育の充実に大きく寄与した。</p> <p>さらに、ICT活用による教育活動について、令和2年5月の新型コロナウイルス感染症対策時の臨時休業の際には、校内特別委員会のメンバーとして、児童・保護者への配布用授業動画DVDの計画・作成に関与し、子供の学びの保障に尽力した。また、プログラミング教育の充実に向け、思考ツールを1人1台端末においても活用できるように組織的に進めるとともに、家庭でのオンライン学習の整備及び授業づくりに関与し、豊富な経験に基づいた創意工夫ある取組を行うなどオンライン学習の実現に寄与した。この実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もこれまでの実践を推進し、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>岩見沢市立光陵中学校</p> <p>教諭</p> <p>ふかがわ ともふみ 深 川 智 史</p> <p>(32歳)</p>	7年	令和 3 年度	<p>道徳教育推進教師として、「しなやかな道徳科」の展開に取り組み、全教職員が「考え議論する道徳」を日常授業で実践する「キャタピラ方式」の導入に尽力した。また、小学校への出前授業に積極的に取り組むとともに、道徳教育通信の発行や、全教師による授業参観、実践評価などを定着させ、中学校区における道徳授業の質的向上に力を発揮した。</p> <p>また、管内の初任段階教諭に社会科の授業を提供するとともに、研究協議では適切な指導助言を行うなど、管内の初任段階教諭の授業力向上の一端を担った。これらの実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、授業改善のより良い方向性を発信・普及するなど、啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>余市町立黒川小学校</p> <p>栄養教諭</p> <p>いしざき けいこ 石 崎 恵 子</p> <p>(32歳)</p>	9年	令和 3 年度	<p>栄養教諭として、学級における給食指導や栄養指導をはじめ、保護者への啓発や指導助言など、食に関する指導の充実に尽力している。特に、栄養教諭としての専門性を生かし、学級担任の授業づくりに積極的に関わり、食に関する授業をティーム・ティーチングで行うとともに、保護者対象の給食試食会や出前授業を行い、発達段階と必要な栄養素、好き嫌い改善のポイントなど家庭での食育の充実にも積極的に取り組むことで、児童の食への関心を高めている。</p> <p>また、管内研修センターにおいて、栄養教諭を対象とした食育講座での講師や研修会での授業者を務めるなど、これまでの取組を広く発信して、その成果を普及し、管内の食育に大きく貢献している。その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も地域との関わりを大事にしながら給食食材の地産地消を進める取組に尽力するなど、食に関する指導を充実させるため、より一層努めている。</p>
<p>江差町立江差中学校</p> <p>教諭</p> <p>はせがわ とむ 長谷川 吐 夢</p> <p>(37歳)</p>	9年	令和 3 年度	<p>各教科における主体的・対話的で深い学びの実現を目指した校内研究授業の推進や講演会へのオンライン参加も含め、道内の教育関係者約100名が参加した授業研究会の開催など研修活動の充実発展に寄与した。</p> <p>また、宗谷教育局第2回組織力強化会議において、学力向上に向けた取組や異学年による協同学習など授業改善に向けた校内研修について実践発表を行い、管内の学力向上に大きく貢献した。</p> <p>その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励費）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も授業スタイルの共通化と学力向上に関する取組の推進に努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
下川町立下川中学校 教諭 つるた しょう 鶴 田 翔 (33歳)	8年	令和 3 年度	<p>国語科教諭として、社会生活に必要な国語について深く研究し、生徒が国語を理解し適切に使い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、生徒の興味・関心に寄り添った新しい題材を取り上げるなど、魅力ある授業づくりに努めている。</p> <p>特に「話すこと・聞くこと」の領域においては、言葉が持つ価値を意識し、望ましい言語活動を通して生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する授業を展開している。</p> <p>また、年間を通じて国語科の学習指導案を全教職員に公開するとともに、下川町にとどまらず、本道において楽しく学び、分かる授業づくりの手本となっていることが評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに上記実践表彰を受賞後も国語科教育の指導充実に図り、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
小清水町立小清水小学校 教諭 おおしま たくみ 大 島 拓 見 (28歳)	7年	令和 3 年度	<p>小学校教諭として、授業改善や職員研修に積極的に取り組み、ICTの効果的な活用や学習規律の徹底に向けた取組等、学力向上に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、道徳教育推進教師として、初任段階教員への指導助言を日常的に行い、校内授業研究では、「考え、議論する道徳」の実現に向けた「多面的・多角的な思考」を重視する発問構成や、指導過程の工夫等について職員に提案するなど、本校の道徳教育充実に尽力している。</p> <p>また、前任校は、北海道道徳教育推進校の指定校であり、複式学級における指導過程や発問の工夫に積極的に取り組み、各学年に応じた教科用図書を用いた異学年交流や、学習リーダーを活用した指導過程等を公開研究会において、全道に発信している。この取組については、文部科学省ウェブページ道徳教育アーカイブに掲載されている。その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICTを活用した授業改善に取り組むなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
湧別町立上湧別小学校 教諭 みなみ たかひろ 南 貴 博 (33歳)	9年	令和 3 年度	<p>小学校教諭として、学校の経営方針をよく理解し、教育課程編成や校内研修の充実に大きく貢献し、教育活動の推進に努めている。</p> <p>前任校在籍中、ミドルリーダーとして、授業づくりや学級経営、生徒指導についての指導・助言を行うなど、若手教職員育成に寄与した。さらに校内研修の充実に、重点教育目標や目指す子供の姿とのつながりを考えた研修内容を構築することができた。</p> <p>これらの実践が高く評価され、令和3年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、令和4年度より現任校に勤務し、校内研修の充実に図るなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道紋別高等学校 教諭 ささき かつみ 笹 木 克 己 (27歳)	4年	令和 3 年度	<p>前任校においては、英語教諭として校内はもとより蘭越町全体の英語教育充実に取り組み、蘭越町外国語教育連携推進会議において、蘭越町CAN-DOリスト（領域別学習到達目標）の作成に尽力した。</p> <p>特に、令和2年度にはリストを活用し、その観点に基づいて町内中学校に乗り入れ指導を行った結果、中学生は高校生活に見通しを持つことで主体的に学ぶ力を身に付け、中学校教員は系統を意識した授業改善に取り組むなど、本道及び管内の英語教育の振興と充実に大きな成果を上げた実践が高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も英語教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たしながら、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験 年数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
幕別町立札内南小学校 教諭 かなや ともひろ 金谷 智 皓 (32歳)	9年	令和 3 年度	<p>小学校教諭として、ICTを活用した児童の資質・能力の育成に焦点を当てた校内研修の推進に尽力するとともに、1人1台端末の効果的な活用に向けて、研修部員としてICTの日常実践の在り方について創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、校内研究においては、社会科の学習において、ICTを活用し、資料を効果的に提示するなど情報活用能力を高めさせる取組を行ったり、1人1台端末の活用について、率先して授業を公開したりするなどの取組は他の模範となっており、管内のICT教育の発展に大きな成果を上げている。</p> <p>また、へき地複式校である前任校においては、小規模校の強みを生かし、個に応じた資質・能力の育成に取り組み、豊富な経験に基づいた実践を管内に発信するなど、その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道中標津高等学校 教諭 いとう わたる 伊藤 航 (33歳)	8年	令和 3 年度	<p>高等学校の地歴・公民科の教諭として、学習指導要領への深い理解と授業手法等に対する熱意ある研究により「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する授業及び教育活動を展開している。</p> <p>特に、授業改善の視点として、生徒に育成したい資質・能力と学習課題とを有機的に結び付けるため「具体的な社会事象」を通して、生徒が学習課題を考える授業について研究と実践を重ね、その成果を各種研究会や北海道教育委員会主催事業における講師として発信することにより、管内はもとより、本道の地歴・公民科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、ICTを活用した教育活動の取組やKP法を用いた主体的・対話的で深い学びの取組など、柔軟な発想から生徒の学習意欲を喚起する洞察力や指導力に優れており、その実践は高く評価され、令和3年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、地歴・公民科の授業実践に関わる内容について、北海道公民教育学会において研究発表するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和4年(2022年) 4月1日現在

3 教職員組織（4校）

組 織 名	活 動 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>名寄市立名寄南小学校 教職員一同</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学 級 数： 20学級 (うち、特別支援6学級) ・児 童 数： 459 名 ・教 職 員 数： 46 名 	3 年	令和 3 年度	<p>長年にわたり、「よく考え、たくましく生きる子どもの育成」を目指し、「学校力向上に関する総合実践事業」指定校として教育活動に取り組んでいる。</p> <p>特に、学習指導においては、学習規律や学習過程、教室環境の整え方などを全校で統一し指導を徹底したり、基礎・基本の定着に向けた習熟度別学習の展開、放課後学習や家庭学習を通じた繰り返し指導に力を入れたりするなど、全教職員が一つのチームとなって学力向上に取り組む実践は高く評価され、令和3年度北海道教育実践表彰（学校表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記表彰を受賞後も、管理職を中心に職員が一体となり、これまでの取組を深化させるなど、積極的な実践に努めている。</p>
<p>小樽市立北陵中学校 教職員一同</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学 級 数： 11学級 (うち、特別支援3学級) ・生 徒 数： 242 名 ・教 職 員 数： 33 名 	3 年	令和 3 年度	<p>平成29年の開校以来、「小樽の未来をつくる 北陵生の育成」を目指し、ICTを活用した授業改善や小中一貫教育の充実に取り組んでいる。</p> <p>特に、学習指導の充実にに向けた取組として、ICTを活用した質の高い授業とユニバーサルデザインを意識した教室環境の整備に取り組むとともに、中学校教員による小学校への乗り入れ指導を実施し、指導方法の工夫・改善について小中合同研修会で協議するなど、その業績は高く評価され、令和3年度北海道教育実践表彰（学校表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記表彰を受賞後も、管理職を中心に職員が一体となり、これまでの取組を深化させるなど、積極的な実践に努めている。</p>
<p>北海道本別高等学校 教職員一同</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学 級 数： 3 学級 ・生 徒 数： 77 名 ・教 職 員 数： 19 名 	7 年	令和 3 年度	<p>開校以来、「創意実践」の校訓の下、地域とともにこれからの時代に求められる、社会で自立し活躍できる人材育成を目指し、CSコーディネーターを地域とのパイプ役として探究的な学びに取り組んでいる。</p> <p>特に、総合的な探究の時間「とちかち創生学」では、地域人材を積極的に活用し、「地域の課題」や「魅力ある街づくり」をテーマに学習を深め、令和元年度から地域の特産品を活用した「スパイスカレーの開発」、令和3年4月にはレトルトカレーの商品化に取り組むなど、生徒の地域への誇りや愛着、地域の将来を担う当事者としての意識の向上に大きな成果を上げており、その実践は高く評価され、令和3年度北海道教育実践表彰（学校表彰）を受賞した。</p>
<p>北海道釧路鶴野支援学校 教職員一同</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学 級 数： 23学級 幼稚部 1 学級 小学部 1 学級 中学部 3 学級 高等部 18学級 ・生 徒 数： 131 名 ・教 職 員 数： 92 名 	8 年	令和 3 年度	<p>開校以来、「自立を目指し 明るく元気に 努力し続ける人を育てる」という教育目標の下、聴覚障がい教育部門と知的障がい教育部門の教員が、互いの立場や取組を尊重しながら、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実に努めている。</p> <p>特に、根室・釧路地域の各学校に教員が訪問し、聴覚障がいのある乳幼児の早期教育や高等学校に在籍する発達障がいのある生徒への相談支援を行うなど、域内の特別支援教育の充実にに向けた実践は高く評価され、令和3年度北海道教育実践表彰（学校表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、受賞後も、管理職を中心に職員が一体となり、これまでの取組を深化させるなど、積極的な実践に努めている。</p>

※ 学級数、児童生徒数、教職員数及び活動年数は、令和4年(2022年)4月1日現在